

リアルタイム現地情報

茨城県農業経営士協会鹿行支部が国内先進事例等視察研修を実施しました

農業経営士協会鹿行支部は、令和7年8月28日（木）～29日（金）に国内先進事例等視察研修を実施し、会員5名が参加しました。

1日目は、福島県伊達郡川俣町のベルグ福島株式会社を視察しました。ベルグ福島株式会社は、ベルグアースグループの育苗拠点で、植物ワクチンの研究開発と製造、ワクチン接種苗の生産を行っています。今回は、ベルグアース営業本部営業部長の花井氏、ベルグ福島取締役農場長の豆塚氏からお話を伺い、育苗施設や植物ワクチン総合研究所を見学させていただきました。会員は、植物ワクチン開発の現状や現地への導入状況、今後の展望について説明を受け、費用や栽培上の注意点等について活発に質問及び意見交換を行いました。視察後には、「ウイルス病対策のために非常に有用な技術であると思う。地域の農業者へも情報共有したい」などの声が聞かれました。

2日目は、福島県福島市のまるせい果樹園を訪問しました。まるせい果樹園は、サクランボ、モモ、リンゴを中心にした多品目観光果樹園で、直売、収穫体験のほか、元ゴルフ場の建物を活用した農家カフェ、ジュースや果物塩など6次化にも取り組んでいます。2013年に果樹園として初めてJGAP、その後ASIA GAP、GLOBAL GAP認証を取得しました。会員は、代表取締役の佐藤清一氏に園内を案内していただき、観光農園ならではの課題や今後の経営発展について意見交換を行いました。

2日間にわたり、大変充実した視察研修となりました。普及センターでは引き続き、農業経営士協会鹿行支部の活動を支援していきます。

銚田地域農業改良普及センター（担い手）



（写真）ベルグ福島の育苗施設を見学